

一 甲明神

糠村の向ふあり多神詳なきを愚按け下
は沼を

一 仙人堂

古俗常陸坊海ねけふよりこれ仙術を学
て仙人となれりと云傳へり又二説あり
添川館主の子仙人となれりたしか七月
十九日多れとして湯立神ふありふ上
飽海二郡より来侍たり事縣にけき
こり中りの濃といふなり按きふにたり中り

舊遣よりして有宇中將の小邸に下りあふ
附書をきひあふあや
中野の事田川郡の
天
くづべの敷といふにけきふあり

一 矢向明神

點岡村合貝の邊にあり軍經記ふあひ川
といふ是なり伝ふあひ川をあひ川
のいの字をいの字に書經記ふなり
といふさふあり(さ事)三所の明神は古社
ありて軍經記ふも見へ侍れたるなり
ある人なり予按きふに三社たふ田川郡